

**市** 数年前、旧知の仲であるTDK(株)の課長と羽田空港で会った際、「TDKもいよいよ農業で動き出すよ」と告げられ、「市が協力できることがあったら必ず言ってください」と返すと、数年経って有機米デザイナー(株)を含めて連携協定を結ぶ関係になりました。にかほ市に研究開発の拠点を持って来たのは、TDK(株)との関係もあるのですか。



昨年締結した5者による連携推進協定締結式

しかし当然、売上も必要です。売上は数量×単価です。数量と単価、どちらを上げることが利益率の改善になるかというと圧倒的に単価です。実際の買い取り価格を見ても、一般的に通常米が平均180円/kg前後なのに対し、有機JAS認証の米は平均400円/kg台で買われています。

有機米は通常米と比べて収量が2割減になってしまうのですが、販売単価が上がることでよって利益率が大きくなります。現に農水省の試算では、10aあたりの所得が3倍になるというデータもあります。SDGsを大事にする、環境にやさしい農業が結果として「儲かる」ということを農家の皆さんに知ってもらいたい。

有機米はマーケットに対して全く供給が追い付いていない状況です。ここにいち早く気付けて産地を形成し、ブランド化している地域の米は高く売れています。

また、現在世界的に化学肥料の価格が高騰していて、今後この傾向が元に戻るには時間がかかりますが、当社は全て国内の未利用資源を使った肥料と資材で賄っていて、高騰の影響はほとんど

員の住環境を良くし、秋田を賑わいのある地域にしていく必要がある。一緒に地域を盛り上げてくれる会社はないかということで、総務本部長から、まちづくりの相談を受けたことがきっかけです。

# にかほ市との関わり

ど受けていません。有機栽培は利益率が高く、肥料コストを削減する観点からも農家の皆さんの利益に直結します。当然ながらノウハウや手間が発生しますが、そこにアイガモロボを活用していただければ良いなと思っています。



アイガモロボを稼働

モロボの開発に絡められたら面白いと思いました。TDK(株)からもアイガモロボのビジネスモデルに惚れ込んでいただき、技術、資本提携と合わせて、にかほ・由利本荘エリアのまちづくりで連携する約束を交わしました。

**市** 地域課題に正面から向き合う方は、課題の解決をビジネスとして捉える。決してポランテアでなく、課題を解決する中でビジネスをして、キャッシュポイントをきちんと作るという発想が、まちづくりとの親和性が高いことも相まって、TDK(株)も行政だけでは解決できないことが多いと分かっていた。

# 有機農業の展望

ことだと思えます。

そうしたリスクを低減するために、当社は転換前から無農薬栽培であれば適正価格で買うようにして有機JAS認証にたどり着く2年間を買い支える仕組みを作っています。

**市** 適正な商業ベースに乗せることが重要ですが、一般の農家は売れるか・売れないかの見極めができない、本場に通常米と差別化して売れるのかとの声も聞こえてきます。

**山** 有機米を販売しているとJAとの関係性を聞かれることが良くありますが、当社ではJAが有機米を扱っている場合はJA

で、山中代表にお声をかけたことは、非常に的を射ていたと思います。TDK(株)は本市が創業の地で、斎藤憲三先生が掲げた「農工一体」を具体化、具現化したいという想いがあって、有機米デザイナー(株)がこれに呼応したことが大きな流れになり、にかほ市にとって、大きな意義を持ったのだと思います。

**市** これからは日本全国で、アイガモロボを使った有機米栽培が、大きな流れとして出来上がっていくと、私だけではなく国も期待しているようですね。

**山** 先日開催されたG7宮崎農業大臣会合でアイガモロボの紹介ブースを出展しました。各国の大臣の前に、抑草効果だけではなく、水田から発生するメタンガスを半減する傾向が確認されたことを発表しました。

**市** ロボへの期待が高まりますが、本市では有機米栽培はほとんど普及していない現状です。積極的に有機米栽培へ取り組み、この有利性についてお伺いします。

**山** 当社が有機農業をやっている一番の理由は「儲かる」からです。利益は、売上からコストを除いた分ですが、利益率に一番影響するのはコスト削減です。

Aから購入していますし、当社との関係性もあり、新たに有機米部会を立ち上げたJAもあります。JAは1俵11何円というビジネス構造になっているので、当社が高く売ったからといってJAの利益を奪うことはありません。むしろ、新たに有機米を扱うことにより集荷できるお米の種類が増えたり、JAが取りまとめることで、農家の手間の削減にもなります。農家の皆さんは、JAから概算払いで現金が入るので安心しますし、有機米部会があれば農家の皆さんも参加する心理的なハードルが低くなります。

すごく合理的で純粋に、JAも組合員も有機栽培に取り組んで「みんなで儲けましょう」という感じになればいいと思います。それが結果として、活気あふれる「まちづくり」になると確信しています。

**市** 地域の課題解決を掲げる有機米デザイナー(株)の本市進出を契機に、有機農業を目指す方が増え、地域全体が豊かになるという未来がデザインされますね。我々もしつかり連携していきましょう。

◀アイガモロボ等のスマート技術を活用した抑草の実証実験を行っています。詳しくは13ページ

# にかほ市×有機米デザイナー株式会社

